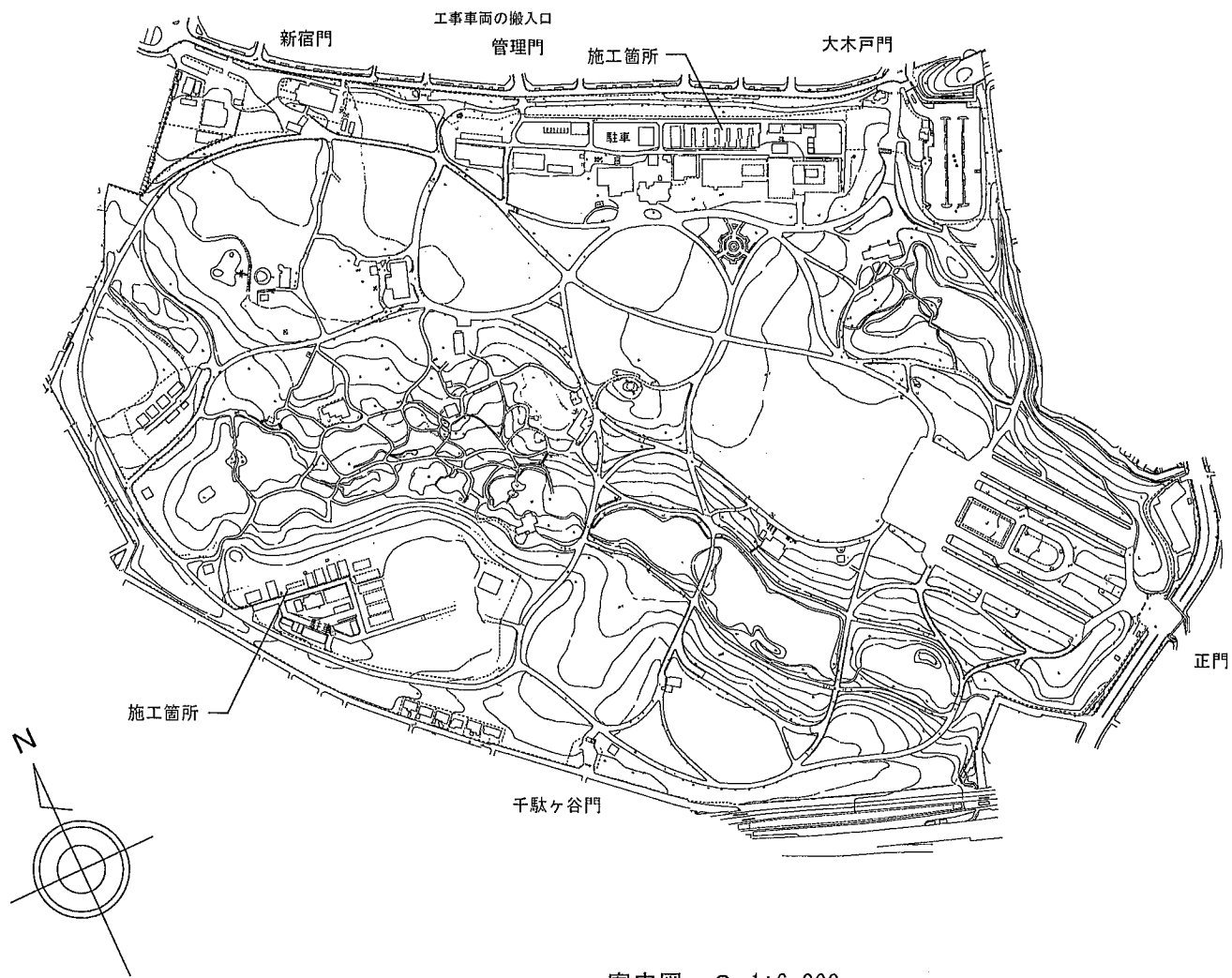


令和8年度新宿御苑温室・菊栽培施設遮光設備等改修工事

実施設計図面目録



図面番号	図面名称	縮尺
E-01/16	表紙 図面目録 等	1:6,000
E-02/16	特記仕様書 1	—
E-03/16	特記仕様書 2	—
E-04/16	特記仕様書 3	—
E-05/16	特記仕様書 4	—
E-06/16	温室配置図・仮設図	1:500
E-07/16	栽培温室・平面図	1:200
E-08/16	栽培温室・立面図	1:100
E-09/16	栽培温室・遮光資材仕様	—
E-10/16	冷温室・平面図・立面図	1:200
E-11/16	冷温室・遮光資材仕様	—
E-12/16	遮光設備納まり仕様	1:30
E-13/16	菊温室配置図・引込配線図	1:300
E-14/16	既設盤図・回路図	—
E-15/16	新設盤図・回路図	—
E-16/16	菊幹線仕様・盤図	—

工事名称	令和8年度新宿御苑温室・菊栽培施設遮光設備等改修工事				工事年度	令和八年度	
工事場所	東京都新宿区内藤町11				公園名称	新宿御苑	
発注機関	環境省 自然環境局 新宿御苑管理事務所				図面番号	E-01/16	
審査	科長	補佐	専門官	担当者	設計者	名称	株式会社藍建築事務所
					設計者氏名	伊東 孝	
					登録番号	233914	
					所在地	つくば市竹園 2-10-20	

令和8年度新宿御苑温室・菊栽培施設遮光設備等改修工事実施設計図

仕様書

I 工事概要

1. 工事場所

東京都新宿区内藤町1-1

2. 敷地面積

583.06㎡

3. 施設名称

新宿御苑、栽培温室、冷温室、蘭日陰け棚（工作物）
菊栽培施設、菊日陰け棚（工作物）
1. 栽培温室 延べ床面積：197.24㎡
鉄骨造、1階建て
2. 冷温室 延べ床面積：309.5㎡
鉄骨造、1階建て
3. 菊栽培施設 菊温室1号室：延べ床面積：137.3㎡、鉄骨造、1階建て
（電機工事）菊温室2号室：延べ床面積：127.67㎡、鉄骨造、1階建て
菊温室3・4号室：延べ床面積：330.0㎡、鉄骨造、1階建て
菊温室5号室：延べ床面積：85.31㎡、鉄骨造、1階建て
菊養生温室：延べ床面積：112.0㎡、鉄骨造、1階建て
4. 菊日陰け棚（工作物）菊日陰け棚1号室：築造面積：432.0㎡
（電機工事）菊日陰け棚2号室：築造面積：432.0㎡
菊日陰け棚3号室：築造面積：192.0㎡
菊新日陰け棚：築造面積：374.4㎡
（面積は、国有財産法、及び建築基準法による。）

II 建築工事仕様

1. 共通仕様

設計図書に記載ない事項は、国土交通大臣官房官庁営繕部監修「公共建築工事標準仕様書（最新版）」及び電気設備工事、機械設備工事標準仕様書、（以下「共仕」という。）による。
・公共建築改修工事標準仕様書（建築工事編）令和7年版（以下、「改修標準仕様書」という。）
・建築工事標準詳細図（令和7年版）（以下、「標準詳細図」という。）
・建築物解体工事共通仕様書（令和7年版）

「公共建築物等における木材の利用の促進に関する法律」に基づき、国立公園等施設への木材利用量について、エクセル、ワード、等、データファイルで作成し、提出する。

2. 特記仕様（一般共通事項・仮設工事・性能については本書を適用する）

（1）項目は、番号に○印の付いたものを適用する。

（2）記載事項は○印の付いたものを適用する。
○印の付かない場合は、※印の付いたものを適用する。
○印と※印の付いた場合は、共に適用する。

（3）特記事項に記載の（ ）内の表示番号は、共仕の当該項目、当該図又は当該表を示す。

（4）製造所名は、五十音順とし「株式会社」等の記載は省略する。また（ ）内は製品名を示す。

（5）使用材料は、特記の仕様品質を確認できる物とする。記載事項に不明な点は管理者の指示による。

3. 特記仕様（工事仕様については別記特記仕様書による・他、）

「国等による環境物品等の調達への推進等に関する法律」（平成12年法律第100号）に基づく環境物品等の調達の推進に関する基本方針（平成31年2月8日閣議決定）に定める特定調達物品における判断の基準「公共工事」等においては、表1、等の中の商品ごとの判断の基準を満たすものを示す。

III 工事工程管理、等

1. 工事工期は、令和9年3月26日までとして、関係仕様書、及び下記による。情報共有システム、及び週休2日制の工事として工程管理する。

2. 情報共有システム
※本工事は、情報共有システム利用対象工事である。
詳細は「自然公園等整備工事及び業務の情報共有システム運用要領（案）」による。
・本工事は、情報共有システム対象外工事である。

3. 働き方の支援として、週休2日として工程管理する。
週休2日は、月ごとの週休2日、等、作業内容、等、工事種別により品質、工程管理、休日の調整をする。
事前に、週間工程表、及び毎日の作業日報により作業内容の報告をする。
工事作業時間は、9時から17時までとして、時間内に、作業の完了、現場のカタズケ、養生まで行うものとする。
工事の内容による監督職員検査確認も、作業時間内に完了する様に工程管理する。
工事の時間内に、新宿御苑を退出する様に、時間調整、工程管理する。

章

1 一般共通事項

① 適用基準等

○建築物解体工事共通仕様書（国土交通大臣官房官庁営繕部監修 最新版）
○公共建築工事共通仕様書（国土交通大臣官房官庁営繕部監修 最新版）
○工事写真の撮り方（改訂最新版）建築、電機、設備編（国土交通大臣官房官庁営繕部監修）

② 工事実績情報の登録
③ 発生材の処理等
④ 電気保安技術者
⑤ 条件明示項目

⑥ 建築材料等

⑦ 特別な材料の工法

8 技能士
改修工事に係る性能品質はJIS認定、等による。

⑧ 完成図等

⑨ 施工図等の取扱い
⑩ 完成写真

① 設備工事との取合い
② 設計G.L

① 監督員事務所
② 工事用水
③ 工事用電力
④ 仮設便所

特記事項

本工事に使用する材料等の特定のものが特記された場合、設計図書に規定する物又はこれらと同等の物とする。ただし、同等のものとする場合は監督職員の承諾を受ける。
なお「評価名簿による」と特記されたものは、建設大臣官房官庁営繕部監修「建築材料・設備機材等品質性能評価事業 建築材料等評価名簿（最新版）」による。

共仕に記載されていない特別な材料の工法は、材料製造所の指定する工法とする。
既設の建物の工法に留意して、施工を行う。

適用工事種別
鉄筋工事
コンクリート工事
鉄骨工事
ブロック・ALC・珪工事
防水工事
石工事
タイル工事
木工事
屋根及びとい工事
金属工事
左官工事
建具工事
塗装工事
内装工事
植栽工事
カーテンウォール

技能検定の職種
鉄筋組立て作業
型枠施工
とび
ブロック建築
ALCパネル施工
アスファルト防水工事業
合成ゴム系シート防水工事業
塗膜防水工事業
シーリング防水工事業
石材施工（石張り施工）
タイル張り
建築大工
建築板金（内外塗装板金作業）
スレート施工
内装仕上げ施工（鋼製下地工事作業）
左官
サッシ施工
ガラス施工
塗装（建築塗装作業）
プラスチック系床仕上げ工事作業
ボード仕上げ工事作業
表装（壁装作業）
造園
カーテンウォール施工
サッシ施工
ガラス施工

③作成する
完成図の原図サイズ
設計図書サイズ、
保安に関する資料の部数
2部
コピー製本とする。

①施工図等の著作権に係わる当該建築物に限る使用権は、発注者に移譲するものとする。

下記のものを監督職員に提出する。ただし、原板は撮影業者の保管とする。
分類・規格
撮影箇所数
提出部数
原板の大きさ(mm)
・モノクローム
※キャビネ版
外部（ ）内部（ ）※2
※100×125以上
・カラー全紙パネル
※キャビネ版
各棟毎に
外部（4）内部（4）※2
（他に外観正面1カットのみ5枚（カラーキャビネ版）提出）
・カラー全紙パネル
外部（ ）内部（ ）※1
・カラーライド
外部（ ）内部（ ）※1
※24×36以上

撮影業者※監督職員の承諾する撮影業者（建築完成写真撮影の実績のある業者）

①設備機器の位置、取合い等の検討できる施工図を提出して、監督職員の承諾を受ける。
既設のハツリ、補修、補強、復旧等、事前報告の上に対処する。

③図示
設計G.L＝現状G.L
設計G.L＝施工範囲の敷地内の高いところを基準とする。

3 基礎及びコンクリート工事

1 普通コンクリートの設計基準強度
損傷部分、等

2 レディミクストコンクリートの種類
3 セメントの種類

④ 砕石及び砂利の種類
5 混和材料の種類
6 基礎の補修

1 鉄骨製作工場
2 施工管理技術者
3 鋼材
鉄骨損傷部分、等

4 スカラップ
5 高力ボルト
6 ターンバックル
7 溶接部分の試験

⑧ 錆止め塗装
鉄骨損傷部分、等
9 耐火被覆

10 アンカーボルトの保持及び埋め込み
11 柱底均しモルタル
12 溶融亜鉛メッキ工法
13 鉄骨補足材、2次部材

設計基準強度F_o（N/mm²<kgf/cm²>）
※21<210>
・18<180>

※Ⅰ類
Ⅱ類

※普通ポルトランドセメント又は混合セメントのA種
・高炉セメントB種
普通ポルトランドセメントの品質は、JIS R5210に示された規定の他、次の規定の全てに適合するものとする。ただし、無筋コンクリートに用いる場合を除く。
水和熱
全アルカリ
塩素
7d 352J/g以下
28d 402J/g以下
0.75%以下
算出はJIS R5210ポルトランドセメント（低アルカリ形）による。
0.02%以下

※A、再生砕石
・B（※コンクリート中のアルカリ総量Rt=29.4N/m<3.0kgf/m>以下）
※混和剤
混和材

基礎に劣化、亀裂があるものは、メンテモルタル、及びメンテペーストにより補修する。
使用材料は、事前に承認を得るものとする。

※ 認定工場種別グレード（・S・H・M・R・J）
※ 適用する
適用しない

・鋼材の種類
種類の記号
使用箇所
規格、等
・SN400A
・SS400
柱、梁、ガセットプレートプレート
※ JIS規格による。
・SN400B
・SS400
※ JIS規格による。
・SKR400
・ガセットプレートプレート、等
・BCR295
※ 大臣認定品
・SN400C
・SS400
※ JIS規格による。
※SSC400
・2次部材、等
※ JIS規格による。

※ 改良型スカラップ
※ トルシア型高力ボルト
・ JIS型高力ボルト
・ 溶融亜鉛メッキ高力ボルト

鋼の種類
※ 割枠型
ボルトの種類
羽子板ボルト

超音波探傷試験
※ 行う
行わない
工場溶接の場合
A00L（%）※ 4.0
・2.5
※ 全て
※ 第6水準
工事現場溶接の場合
A00L（%）※ 4.0
・2.5
・マクロ試験（エンドタブ使用）
※ 行う
行わない
・放射線試験
※ 行う
行わない

耐火被覆材の接着する面の塗装
○ 行う（※JIS K5622
遮光設備の傷つく部分
※ 行わない
種類
・ラス張り、モルタル塗り、
・耐火材吹き付け
・耐火板張り

・構造用アンカーボルト（・
・建て方用アンカーボルト（・A種 ※B種 ・C種
・支柱受金物の構造強度、アンカーボルト応力、既存基礎の耐力確認の上に施工する。

※ A種
B種

溶融亜鉛メッキ高力ボルト接合の摩擦係数
※ 滑り係数値、0.4以上確保
・溶融亜鉛メッキ部材、仕様書7.12.4.JIS H 8641、JIS認定工事により制作する。
・ステンレス部材：SUS304 JIS G 4305 又はJISステンレス型鋼とする。

4 鉄骨工事

1 鉄骨製作工場
2 施工管理技術者
3 鋼材
鉄骨損傷部分、等

4 スカラップ
5 高力ボルト
6 ターンバックル
7 溶接部分の試験

⑧ 錆止め塗装
鉄骨損傷部分、等
9 耐火被覆

10 アンカーボルトの保持及び埋め込み
11 柱底均しモルタル
12 溶融亜鉛メッキ工法
13 鉄骨補足材、2次部材

工事名称
工事場所
発注機関
公園名称

令和8年度新宿御苑温室・菊栽培施設遮光設備等改修工事
東京都新宿区内藤町1-1
環境省 自然環境局 新宿御苑管理事務所
新宿御苑

工事年度
令和8年度
図面名称
特記仕様書 1
縮尺
図面番号
E- 02/16
科長
補佐
専門官
担当者
設 名 称
計 設計者氏名
者 登録番号
所 在 地
株式会社藍建築事務所
伊東 孝
233914
つくば市竹園 2-10-20

[illegible]

○電気工事仕様、等 ○配管配線設備 ○電灯設備 ○動力設備 ○構内配電線路	○1、下記の工事は、監督職員立ち合いの元に行い、報告書、引継ぎ書類を提出する。 ただし、事前に施工図承認、及び軽微な物はこの限りでは無い。 イ、動力設備 絶縁抵抗試験、絶縁耐力試験 （屋内 架空 地中配線）（低圧を除く）導通機能試験 ロ、受変電設備、自家発電設備、等 絶縁抵抗試験、絶縁耐力試験、総合動作機能試験、等。関連試験 ハ、通信設備 絶縁抵抗試験、絶縁耐力試験、等。制御、通信に関わる試験、等 （屋内 架空 地中配線） 二、構内交換設備 総合動作機能試験 ホ、接地 接地抵抗試験、等。各回路ごとの確認試験、等 ○2、提出図書 イ、施工図、承認図、製本、× 2部、及び、データー、等 品質確認書類も同様 ロ、工事写真、× 2部、及びデーター、等（以下同様） 工事工程写真、及び完成写真、等 ハ、完成図書 完成時の設計図書 回路図、系統図、盤図、等 完成検査時の試験結果報告書 二、工具、備品、引き渡し品目の一覧表、仕様、数量、等 使用材料、性能品質、等、一覧表、等 機器、部品の、予備品、等 ホ、瑕疵担当者リスト 各、電機、設備等の、保全担当者リスト、連絡先、等 ○3、電線保護材料 イ、隠蔽、またはコンクリート埋設配管、打ち込み配管、等、 ・可とう電線管 ・合成樹脂可とう電線管（PF） ロ、地中埋設管 ・波型硬質ポリエチレン管（FEP） ○4、呼び線 入線しない管路には、ビニル被覆鉄線を入線して、余長を多く、設置する。 ○5、電気方式 幹線 単相3線式200V／100V 分岐 単相2線式100V 電源改修による、機器の動作確認を行う。 ○6、配線器具、等 菊温室には電灯コンセントを造設、コンセントは、アース付防水コンセントとする。 日除け棚も、同様に、図示による。 ○7、電気方式 幹線 三相3線式200V 分岐 三相3線式200V 電源改修による、機器の動作確認を行う。 ○8、機器への接続（インバーター接続、動作確認、制御確認、等含む。） 既設の引き込み盤、及び回路ブレーカーの通線工事を行う。 電源通電時の動作確認試験を行う。 ○9、電動機の接地、等 既設の回路分電盤への接地配線確認を行う。 ○10、既設のハンドホール、及び既設の空配管の管路を利用して配線する。 新設部分は、地中掘削、配管配線の施工をして、原状復旧する。 配管配線、埋設配管は、国土交通省仕様とする。 幹線の電源改修による、機器の動作確認を行う。 ○11、キュービクルへの幹線接続 キュービクルに近い既設のハンドホールから、地中埋設配管配線により キュービクル内の壁に接続する。 幹線の電源改修による、機器の動作確認を行う。 ○12、他、電気電源供給規定、施工仕様については、 内線規程、JEA 8001 2022 一般財団法人日本電気協会監修による。	○・機器標準取付高さ	○電力共通 <table><tr><td>測点</td><td>取付高〔mm〕</td></tr><tr><td>積算計器</td><td>地上～窓中心 1,800～2,000</td></tr><tr><td>引込開閉器</td><td>地上～中心 1,800～2,200</td></tr><tr><td>分電盤</td><td>床上～中心 1,500 (上限1,900以下)</td></tr></table> ○電灯 <table><tr><td>スイッチ</td><td>床上～中心 1,300</td></tr><tr><td>スイッチ（多機能トイレ）</td><td>床上～中心 1,100</td></tr><tr><td>コンセント（一般）</td><td>床上～中心 300</td></tr><tr><td>コンセント（和室）</td><td>床上～中心 150</td></tr><tr><td>コンセント（台上）</td><td>台上～中心 150～200</td></tr><tr><td>コンセント（車椅子用）</td><td>床上～中心 900</td></tr><tr><td>ブラケット（一般）</td><td>床上～中心 2,100～2,300</td></tr><tr><td>ブラケット（踊場）</td><td>床上～中心 2,000～2,500</td></tr><tr><td>ブラケット（鏡上）</td><td>鏡上端～中心 150</td></tr></table> ○動力 <table><tr><td>壁掛形制御盤</td><td>床上～中心 1,500</td></tr><tr><td>開閉器箱</td><td>床上～中心 (上限1,900以下)</td></tr><tr><td>制御用スイッチ</td><td>床上～中心 1,500 1,300</td></tr></table> 電保護 <table><tr><td>試験用接続端子箱</td><td>床上～下端 800</td></tr></table> ○受変電 <table><tr><td>接地端子箱</td><td>地上、床上～中心 500</td></tr></table> 発電 <table><tr><td>給油口ボックス</td><td>地上～給油口 1,000</td></tr></table> ○構内交換 <table><tr><td>端子盤（室内）</td><td>床上～下端 300</td></tr><tr><td>集合保安器箱</td><td>天井下～上端 200</td></tr><tr><td>壁付電話機（一般）</td><td>床上～中心 1,300</td></tr></table> ○屋外 <table><tr><td>接地極埋設標</td><td>地上～中心 600</td></tr></table>	測点	取付高〔mm〕	積算計器	地上～窓中心 1,800～2,000	引込開閉器	地上～中心 1,800～2,200	分電盤	床上～中心 1,500 (上限1,900以下)	スイッチ	床上～中心 1,300	スイッチ（多機能トイレ）	床上～中心 1,100	コンセント（一般）	床上～中心 300	コンセント（和室）	床上～中心 150	コンセント（台上）	台上～中心 150～200	コンセント（車椅子用）	床上～中心 900	ブラケット（一般）	床上～中心 2,100～2,300	ブラケット（踊場）	床上～中心 2,000～2,500	ブラケット（鏡上）	鏡上端～中心 150	壁掛形制御盤	床上～中心 1,500	開閉器箱	床上～中心 (上限1,900以下)	制御用スイッチ	床上～中心 1,500 1,300	試験用接続端子箱	床上～下端 800	接地端子箱	地上、床上～中心 500	給油口ボックス	地上～給油口 1,000	端子盤（室内）	床上～下端 300	集合保安器箱	天井下～上端 200	壁付電話機（一般）	床上～中心 1,300	接地極埋設標	地上～中心 600	○設計説明書 ○1、設計主意書 ①、栽培温室の遮光ネットの経年劣化、及び電機、機械設備の老朽化により 機能が低下している事は、大きな損失に成る為に、改修工事を行う。 ○2、業務概要 ①、栽培温室、屋根の自動巻き取り機器の駆動部分の改良を行う。 屋根、外壁、天井。陽射しのもれる部分も遮光ネット改修工事をする。 屋根、外壁のガラスの洗浄を行う。 ②、冷温室 屋根、外壁、南側、西側の陽射しの強い面も遮光ネット改修工事をする。 屋根、外壁のガラスの洗浄を行う。 ③、菊栽培施設 幹線の引込工事を行う。 電灯コンセント工事を行う、等。 ○3、コスト削減に成る業務内容、等 ①、栽培温室、屋根の遮光カーテン電源を動力に変える事で電気効率が良く成る 屋根、外壁の遮光漏れの無い様にして負荷を軽減する。 硝子の洗浄により、太陽光の加温効果が増加される。 ②、冷温室 外壁、南側、西側も遮光する事により、エネルギーの負担が軽減される。 通路の屋根遮光を撤去して、維持管理の軽減に成る。 硝子の洗浄により、太陽光の加温効果が増加される。 ③、菊栽培施設、等 幹線引込工事を行う。 電灯、動力電源の新規引き直しにより、電気効率が良く成る ○4、リサイクル計画 ①、解体撤去時、電気機器、及び配線は、再利用できるものであり、 鋼材、他、プラスチック製品等、再利用資材を使用する。 ②、改修工事に際して、既設の配管配線、空配管も再利用する事で まだ使える資材を再利用、長く使える様に施工する。 ③、風雨にさらされる電気機器、塩ビ製品は劣化しやすいのですが、 遮光ネットにより紫外線を遮り、長期に使用出来る様にする。
測点	取付高〔mm〕																																																	
積算計器	地上～窓中心 1,800～2,000																																																	
引込開閉器	地上～中心 1,800～2,200																																																	
分電盤	床上～中心 1,500 (上限1,900以下)																																																	
スイッチ	床上～中心 1,300																																																	
スイッチ（多機能トイレ）	床上～中心 1,100																																																	
コンセント（一般）	床上～中心 300																																																	
コンセント（和室）	床上～中心 150																																																	
コンセント（台上）	台上～中心 150～200																																																	
コンセント（車椅子用）	床上～中心 900																																																	
ブラケット（一般）	床上～中心 2,100～2,300																																																	
ブラケット（踊場）	床上～中心 2,000～2,500																																																	
ブラケット（鏡上）	鏡上端～中心 150																																																	
壁掛形制御盤	床上～中心 1,500																																																	
開閉器箱	床上～中心 (上限1,900以下)																																																	
制御用スイッチ	床上～中心 1,500 1,300																																																	
試験用接続端子箱	床上～下端 800																																																	
接地端子箱	地上、床上～中心 500																																																	
給油口ボックス	地上～給油口 1,000																																																	
端子盤（室内）	床上～下端 300																																																	
集合保安器箱	天井下～上端 200																																																	
壁付電話機（一般）	床上～中心 1,300																																																	
接地極埋設標	地上～中心 600																																																	

週休2日制工事実施要領

(1) 週休2日制工事（現場閉所型）の場合

- (○) 本工事は、現場閉所により完全週休2日を確保する「週休2日制工事（現場閉所型）」※【（完全週休2日（土日）Ⅰ型）又は（完全週休2日（土日）Ⅱ型）】」の対象工事である。
- 入札時においては、当初の予定価格から対象期間内の全ての週において、現場閉所を土日に指定し、1週間に2日以上現場閉所を行うことを前提に、工事費を積算する。

【完全週休2日（土日）Ⅰ型の場合】

受注者は、工事契約後、完全週休2日（土日）の取組を希望するか判断の上、発注者に協議するものとし、希望しない場合は月単位の週休2日に取組むものとする。

【完全週休2日（土日）Ⅱ型の場合】

受注者は、工事契約後、完全週休2日（土日）又は月単位の週休2日の取組のどちらかを希望するか判断の上、発注者に協議するものとし、どちらも希望しない場合は通期の週休2日に取組むものとする。

週休2日の考え方は下記のとおりである。

- ア 完全週休2日（土日）とは、対象期間の全ての週において、現場閉所を土日に指定し、1週間に2日以上現場閉所を行ったと認められる状態をいう。
- なお、土日に加えて、受注者自らが土日以外にも現場閉所することは可能とする。
- ただし、受注者の責によらず土日に施工を行わざるを得ない場合は、土日に代わる現場閉所日を指定するものとする。
- イ 月単位の週休2日とは、対象期間において、全ての月で4週8休以上の現場閉所を行ったと認められる状態をいう。
- ウ 通期の週休2日とは、対象期間において、4週8休以上の現場閉所を行ったと認められる状態をいう。
- エ 対象期間は、工事着手日から工事完成日までの期間をいう。なお、年末年始6日間、夏季休暇3日間、工場製作のみを実施している期間、工事全体を一時中止している期間のほか、発注者があらかじめ対象外としている内容に該当する期間、受注者の責によらず現場作業を余儀なくされる期間等は含まない。
- オ 現場閉所とは、巡回パトロールや保守点検等、現場管理上必要な作業を行う場合を除き、1日を通して現場や現場事務所が閉所された状態をいう。

2 週休2日の考え方

- (1) 完全週休2日（土日）とは、対象期間の全ての週において、現場閉所されている状態をいう。
- 受注者の責によらず土日に施工を行わざるを得ない場合は、事前に協議した上で、土日に代わる現場閉所日を指定するものとする。
- (2) 月単位の週休2日とは、対象期間内の全ての月で現場閉所日数の割合（以下「現場閉所率」という。）が、28.5%（8日／28日）以上の水準の状態をいう。ただし、暦上の土日の閉所では、28.5%に満たない月は、その月の土日の合計日数以上に閉所を行っている場合に4週8休以上を達成しているものとみなす。
- (3) 通期の週休2日とは、対象期間内の現場閉所率が、28.5%（8日／28日）以上の水準の状態をいう。
- (4) なお、降雨、降雪等による予定外の現場閉所についても、現場閉所日数に含めるものとする。
- (5) 対象期間は、工事着手日から工事完成日までの期間をいう。なお、年末年始6日間、夏季休暇3日間、工場製作のみを実施している期間、工事全体を一時中止している期間のほか、発注者があらかじめ対象外としている内容に該当する期間、受注者の責によらず現場作業を余儀なくされる期間等は含まない。
- (6) 現場閉所とは、巡回パトロール及び保守点検等、現場管理上必要な作業を行う場合を除き、1日を通して現場及び現場事務所が閉所された状態をいう。
- (7) 受注者の責によらない現場閉所
- 工事契約後、週休2日対象期間としていた期間において、受注者の責によらず現場作業を余儀なくされる期間が生じる場合は、受発注者間で協議して現場閉所による週休2日の対象外とする作業と期間を決定するとともに変更契約時の設計図書に対象外とする作業と期間を明示する。
- ただし、現場閉所による週休2日の対象外とする期間は災害対応等のやむを得ない期間に限定すること。
- (8) やむを得ない現場閉所
- やむを得ず現場閉所による週休2日の対象外とする期間を設定する場合は、必要最小限の期間とするものとする。
- また、現場閉所による週休2日対象外期間においては、技術者及び技能労働者が交替しながら個別に週休2日に取り組めるよう、休日確保に努めるものとする。

3 現場閉所実績報告書等

受注者は、毎月末までに現場閉所実績報告書又は現場閉所率を確認できる資料等（現場閉所実績が記載された工程表や休日等の作業連絡記録、安全教育・訓練等の記録資料等）（以下「現場閉所実績報告書等」という。）を作成し、監督職員が指定する日までに現場閉所実績報告書等を提出するものとする。

(1) 週休2日制工事（現場閉所型）の場合

4 総合工事工程表の作成

受注者は、発注時の設計図書や発注者から明示される事項を踏まえ、総合工程表を作成する。

総合工事工程表を作成するに当たっては、当該工事の規模及び難易度、地域の実情、自然条件、工事内容、施工条件等のほか、建設工事に従事する者の週休2日の確保等、下記の条件を適切に考慮する。

- (1) 建設工事に従事する者の休日（週休2日に加え、祝日、年末年始及び夏季休暇）の確保
- (2) 建設業者が施工に先立って行う労務・資機材の調達、調査・測量、現場事務所の設置等の「施工準備期間」
- (3) 施工終了後の自主検査、後片付け、清掃等の「後片付け期間」
- (4) 降雨日、降雪・出水期等の作業不能日数

5 工事工程の共有

- (1) 工事において、受発注者間で工事工程のクリティカルパスを共有し、工程に影響する事項がある場合には、その事項の処理対応者を明確にするものとする。
- (2) 円滑な協議を行うため、施工当初において工事工程（特にクリティカルパス）と関連する案件の処理期限（誰がいつまでに処理し、どの作業と関連するのか）について、受発注者で共有するものとする。
- (3) 工事工程の共有に当たっては、必要に応じて下請け業者（専門工事業者等の技術者等）を含めるなど、共有する工程が現場実態にあったものとなるよう配慮するものとする。
- (4) 工程に変更が生じた場合は、その要因と変更後の工事工程について受発注者間で共有すること
- また、工程の変更理由が受注者の責によらない場合は、適切に工期の変更を行うものとする。

(2) 週休2日制工事（現場非閉所型・交替制）の場合

- (○) 本工事は、現場代理人、技術者及び技能労働者が交替しながら各人が完全週休2日を確保する「週休2日制工事（現場非閉所型・交替制）」※【（完全週休2日交替制Ⅰ型）又は（完全週休2日交替制Ⅱ型）】」の対象工事である。

- (○) 本工事は、現場代理人、技術者及び技能労働者（以下「現場代理人等」という。）が交替しながら各人が完全週休2日を確保する「週休2日制工事（現場非閉所型・交替制）」※【（完全週休2日交替制Ⅰ型）又は（完全週休2日交替制Ⅱ型）】」の対象工事である。

【完全週休2日交替制Ⅰ型の場合】

受注者は、工事契約後、完全週休2日交替制の取組を希望するか判断の上、発注者に協議するものとし、希望しない場合は月単位の週休2日交替制に取り組むものとする。

【完全週休2日交替制Ⅱ型の場合】

受注者は、工事契約後、完全週休2日交替制又は月単位の週休2日交替制の取組のどちらかを希望するか判断の上、発注者に協議するものとし、どちらも希望しない場合は通期の週休2日交替制に取り組むものとする。

入札時においては、当初の予定価格から対象期間内の全ての週において、現場に従事する現場代理人等の各人の休日日数の割合（以下「休日率」という。）が、28.5%（2日／7日）以上を満たすことを前提に、工事費を積算する。

週休2日の考え方は下記のとおりである。

- ア 完全週休2日交替制とは、対象期間の全ての週において、現場代理人等が交替しながら1週間に2日間以上の休日を確保する取組をいう。
- イ 月単位の週休2日交替制とは、対象期間の全ての月において、現場代理人等が交替しながら各人が4週8休以上の休日を確保する取組をいう。
- ウ 通期の週休2日交替制とは、対象期間において、現場代理人等が交替しながら各人が4週8休以上の休日を確保する取組をいう。
- エ 対象期間は、工事着手日から工事完成日までの期間をいう。なお、受注者の責によらず交替制による週休2日の実施が困難な期間は含まない。

- (○) 現場閉所日における現場代理人等の休暇取得に当たっては、工事現場における運営、取締り及び権限の行使に支障がないこと並びに発注者との連絡体制の確保状況について、事前に発注者の了解を得ること。
- 建設業法（昭和24年法律第100号）第26条第3項の規定に基づき専任の者でなければならないとされている主任技術者又は監理技術者（以下「監理技術者等」という。）の休暇については、適切な施工ができる体制を確保するとともに、その体制について、元請の監理技術者等の場合は発注者下請の主任技術者の場合は元請又は上位の下請の了解を事前に得ること。

(2) 週休2日制工事（現場非閉所型・交替制）の場合

- 1 本工事は、現場代理人、技術者及び技能労働者（以下「現場代理人等」という。）が交替しながら、各人が週休2日を確保する「週休2日制工事（現場非閉所型・交替制）」※【（完全週休2日交替制Ⅰ型）又は（完全週休2日交替制Ⅱ型）】」の対象工事である

【完全週休2日交替制Ⅰ型の場合】

受注者は、工事契約後、完全週休2日交替制の取組を希望するか判断の上、発注者に協議するものとし、希望しない場合は月単位の週休2日交替制に取り組むものとする。

【完全週休2日交替制Ⅱ型の場合】

受注者は、工事契約後、完全週休2日交替制又は月単位の週休2日交替制の取組のどちらかを希望するか判断の上、発注者に協議するものとし、どちらも希望しない場合は通期の週休2日交替制に取り組むものとする。

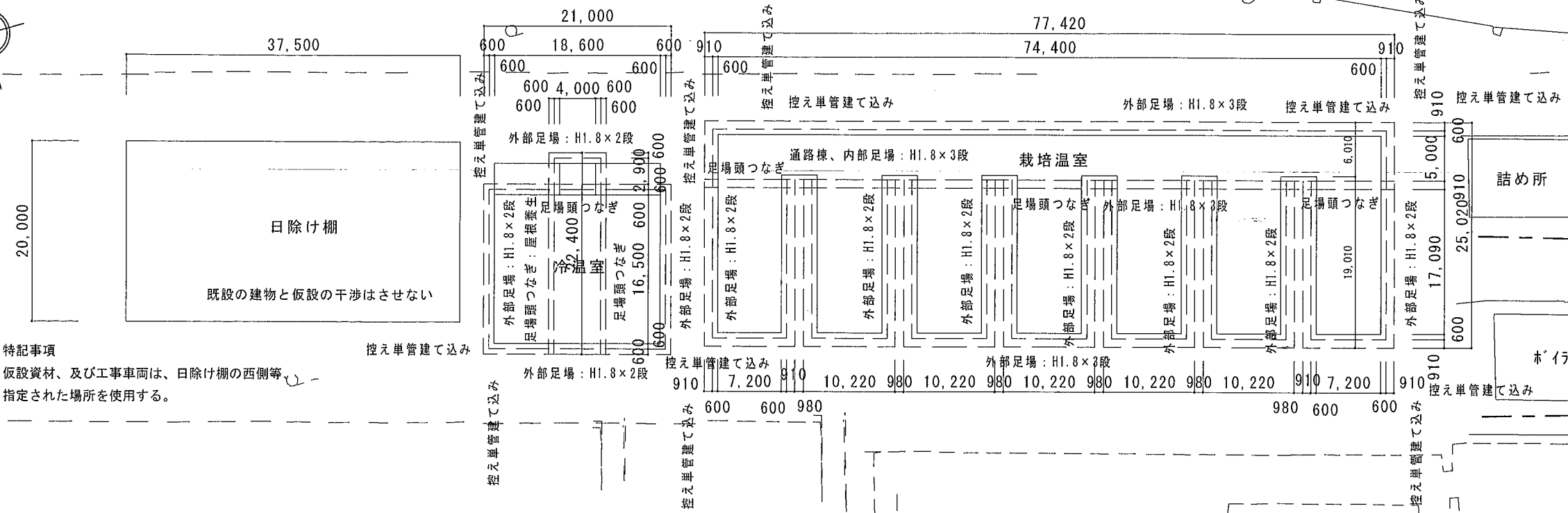
2 週休2日の考え方

- (1) 完全週休2日交替制とは、対象期間内の全ての週において、現場代理人等の平均休日数の割合（以下「休日率」という。）が28.5%（2日／7日）以上の水準の状態をいう
- (2) 月単位の週休2日交替制とは、対象期間内の全ての月において、現場代理人等の休日率が、28.5%（8日／28日）以上の水準の状態をいう。
- (3) 通期の週休2日交替制とは、対象期間内において、現場代理人等の休日率が、28.5%（8日／28日）以上の水準の状態をいう。
- (4) 対象期間は、工事着手日から工事完成日までの期間をいう。なお、受注者の責によらず交替制による週休2日の実施が困難な期間は含まない。
- (5) 休日の確認対象は、施工体制台帳に記載された建設会社等のすべての技術者等とし、休日取得状況を確認するものとする。
- (6) 工事契約後、週休2日対象期間としていた期間において、受注者の責によらず交替制による週休2日の実施が困難な期間が生じる場合は、受発注者間で協議して交替制による週休2日の対象外とする作業と期間を決定するとともに、変更契約時の設計図書に対象外とする作業と期間を明示する。ただし、交替制による週休2日の対象外とする期間は災害対応等のやむを得ない期間に限定すること。
- (7) やむを得ず交替制による週休2日の対象外とする期間を設定する場合は、必要最小限の期間とする。

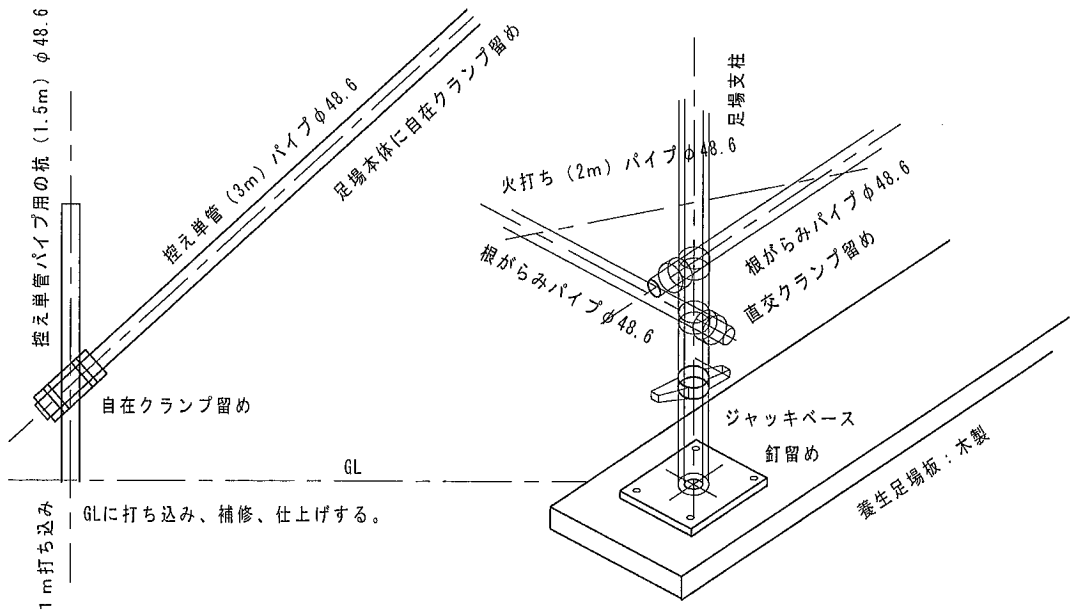
3 休日取得実績報告書等

受注者は、毎月末までに休日取得実績報告書又は休日率を確認できる資料等（休日取得実績が記載された工程表や休日等の作業連絡記録、安全教育・訓練等の記録資料等）（以下「休日取得実績報告書等」という。）を作成し、監督職員が指定する日までに休日取得実績報告書等を提出するものとする。

工事名称	令和8年度新宿御苑温室・菊栽培施設遮光設備等改修工事				工事年度	令和8年度	
工事場所	東京都新宿区内藤町 1 1				図面名称	特記仕様書 4	
発注機関	環境省 自然環境局 新宿御苑管理事務所						
公園名称	新宿御苑				図面番号	E- 05／16	
検 査	科 長	補 佐	専 門 官	担当者	設 名 称	株式会社藍建築事務所	
					計 設計者氏名	伊 東 孝	
					者 登録番号	233914	
					所 在 地	つくば市竹園 2-10-20	



特記事項
仮設資材、及び工事車両は、日除け棚の西側等指定された場所を使用する。



配置図・仮設図 1 : 500

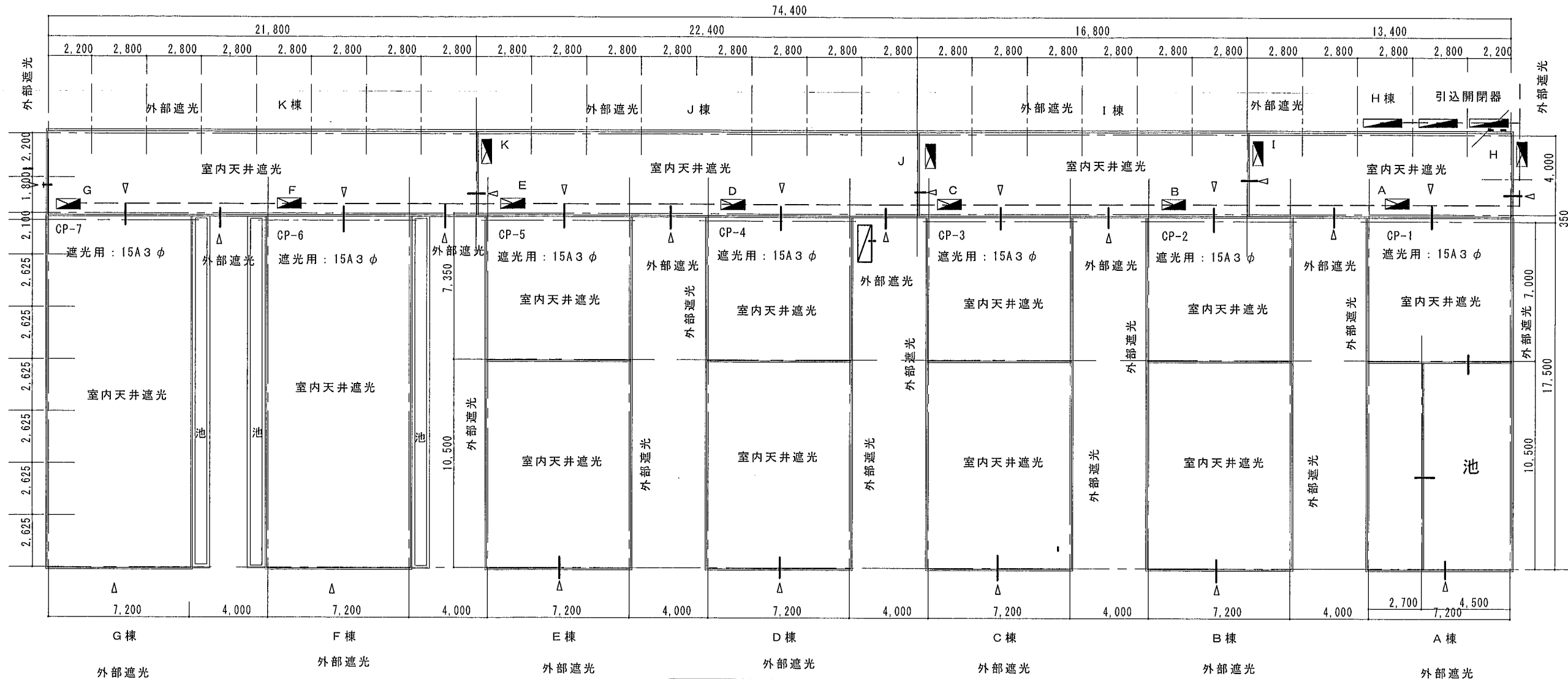
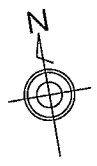
控え単管建て込み時には、埋設配管等、事前確認する。

仮設外部足場
外部足場、等、枠組み足場として、手摺先行型に組み上げ、安全対策のシート掛けを行う。
外部足場の控えは、建物には設けない。既設の建物にも、控えは取らない。
控えは、GLに設けて、地盤面の舗装、仕上げ、等の養生、復旧を行う。

建築産業廃棄物、等
建築リサイクル、及び再生資材の関係法により、処理する。
廃材は、廃プラスチック、金属くず、スクラップ（再生資材）等に分けて、処理するものとして数量の確認書類を適宜提出する。

- 足場施工に際して
- 1、足場の足元は、養生道板敷き込みの上に、レベルアジャスター建て込み
 - 2、頭つなぎ、及び控え単管は、四隅に、施工する。

工事名称	令和8年度新宿御苑温室・菊栽培施設遮光設備等改修工事				工事年度	令和八年度	
工事場所	東京都新宿区内藤町11				図面名称	温室配置図・仮設図	
発注機関	環境省 自然環境局 新宿御苑管理事務所				縮尺	1 : 500	
公園名称	新宿御苑				図面番号	E-06/16	
検 査	科 長	補 佐	専 門 官	担 当 者	設 計 者	名 称	株式会社藍建築事務所
						設計者氏名	伊 東 孝
						登録番号	233914
						所 在 地	つくば市竹園 2-10-20

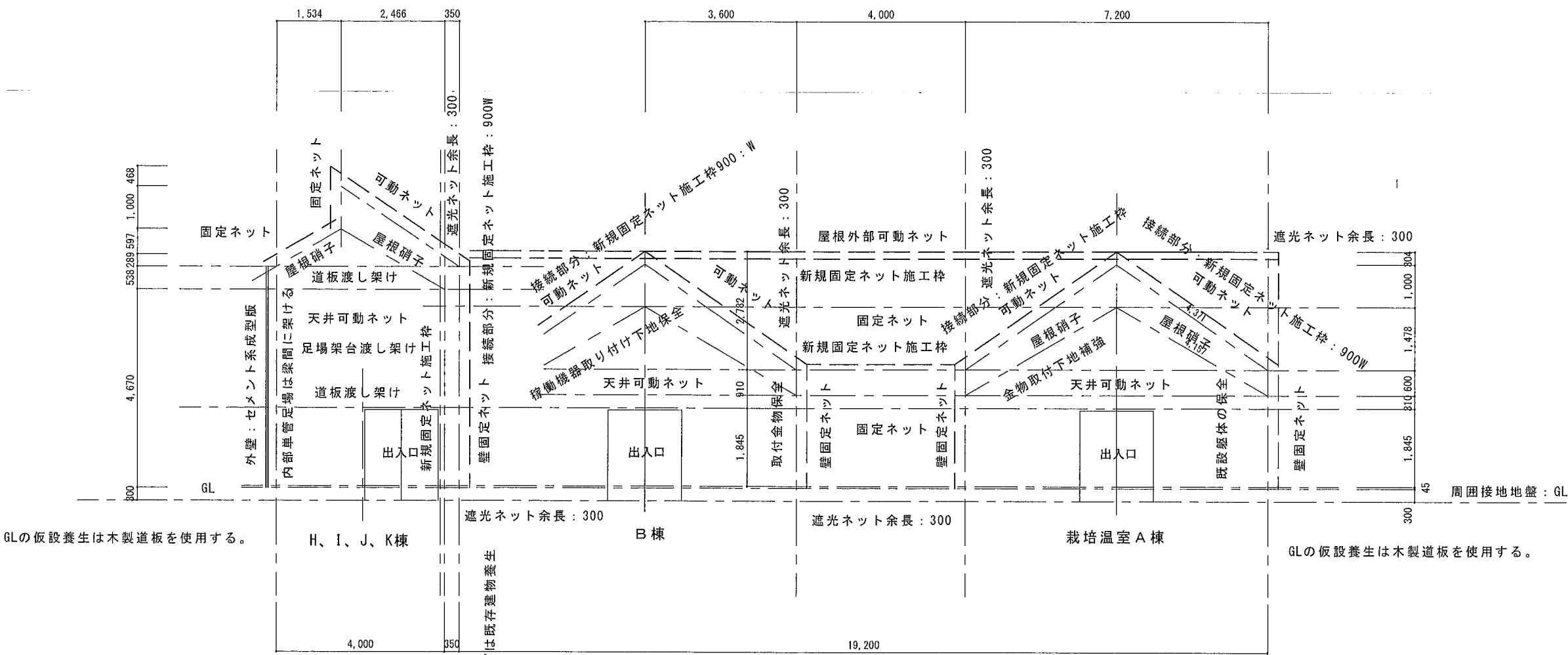


栽培温室、平面図 1:200

工事内容、仕様、等

- 1、屋根、壁、内部天井（支持ワイヤー等）の遮光ネット等の張替え、等、
- 2、屋根、壁の硝子の清掃、等、
- 3、屋根、壁、内部天井の遮光ネットの駆動機器の維持管理、動作確認、等
- 4、屋根外部遮光ネットの張替え、固定ネット、可動ネット、等
- 5、屋根外部遮光隙間の固定ネット取付け、金物、共、施工する。

検 査	工事名称				令和8年度新宿御苑温室・菊栽培施設遮光設備等改修工事	工事年度	令和八年度	
	工事場所				東京都新宿区内藤町11	図面名称	栽培温室・平面図	
	発注機関				環境省 自然環境局 新宿御苑管理事務所	縮 尺	S=1:200	
	公園名称				新宿御苑	図面番号	E-07/16	
					科長	補佐	専門官	担当者
設 計 者	設 名 称				株式会社藍建築事務所			
	設計者氏名				伊東 孝			
	登録番号				233914			
				所 在 地				つくば市竹園 2-10-20



栽培温室、立面図 1:100

特記事項

- 1、仮設、及び遮光機器の取り付け部分の補強、保全
- 2、屋根架台、取り付け部分の防水シート留
- 3、温室内の植栽対応は、個々に、監督職員の確認を得る。

工事内容、仕様、等

- 1、屋根、壁、内部天井（支持ワイヤー等）の遮光ネット等の張替え、等、
- 2、屋根、壁の硝子の清掃、等、
- 3、屋根、壁、内部天井の遮光ネットの駆動機器の維持管理、動作確認、等
- 4、屋根外部遮光ネット張替え、固定ネット、及び可動ネット共
- 5、屋根外部遮光ネットの隙間部分の固定遮光ネット、取り付け金物、及び遮光ネット取付け

工事名称	令和8年度新宿御苑温室・菊栽培施設遮光設備等改修工事				工事年度	令和八年度	
工事場所	東京都新宿区内藤町11				図面名称	栽培温室・立面図	
発注機関	環境省 自然環境局 新宿御苑管理事務所				縮尺	S=1:100	
公園名称	新宿御苑				図面番号	E-08/16	
検 査	科長	補佐	専門官	担当者	設 計 者	名 称	株式会社藍建築事務所
						設計者氏名	伊東 孝
						登録番号	233914
						所 在 地	つくば市竹園 2-10-20

栽培温室、使用遮光設備の機材のリスト、数量、等					屋根外部遮光					特記事項、等				
内部遮光設備、等					外部遮光設備、等					1、遮光設備、資材のリスト、及び数量は、設計数量であり、施工上の現場の納まり等仕様数量が変わる場合には、適宜、監督職員 の立ち合い確認の上に施工する。 軽微なものは、改修工事の際に、保全、補修する。				
AからE棟					AからE棟					2、工事は、既設の遮光設備の架台を、再使用して、施工する事により、既存の劣化、損傷により、改修部分が、増える場合は適宜報告する。 必要に応じて、設計変更する。				
BからE棟					F、G棟					3、設計数量の、変更、増減は、施工数量の確認の上に、設計変更する。 隠れた、変更部分等、改修により診える部分も同様に扱う。 数量報告は、設計変更数量として確認する。				
F、G棟					H棟					4、数量確認調査、等 施工数量の確認は、施工図、及び使用材料調書により確認する。 同様に、施工報告書には、使用数量、及び使用機材の品質証明書、及び施工状況の写真を、使用機材の仕様数量が確認できる写真と共に報告する。				
小室					I棟					5、既設の、劣化損傷部分の補修について 既存劣化部分は、施工時に、確認が出来た時に、適宜報告する。 改修工事により、切れた部分、等、屋根防水の施工部分も、同様に、補強、補修する。 既設再利用部分も同様に、保全補強施工する。				
中室					J棟									
大室					K棟									
軸受け 1 A 個 3 4 7					22.2φパッカー 90G 個 192 164									
ドラム 2 B 個 4 5 8					調整ベルト A15 m 44 66									
トッパンガー 4 SG 個 4 5 8					天井フィルム、5.0m×10.3m 枚 2									
サイド滑車 5 SFZ 個 4 5 8					天井フィルム、5.0m×6.5m 枚 2									
ロープ受け滑車 6 S 個 8 10 16					天井フィルム、5.0m×17.5m 枚 2									
角軸パイプ 7 D 本 3 4 7					天井フィルム、1.2m×5.5m 枚 8 4									
角軸用ジョイント 8 A 個 1 2 5					天井フィルム、0.6m×5.5m 枚 8 2									
12.7φ先端パイプ 7 X 個 12 16 24					ダイオネット1010SG									
12.7φ外ジョイント 8 D 個 8 12 20														
12.7φパッカー 90B 個 100 100 200														
カーテン滑車 12T 個 8 8 8														
コーティングワイヤーロープ 13A m 100 150 250														
カーテンクリップ 16R 個 16 20 32														
フィルムクリップ 16F 個 40 50 100														
妻ワイヤーカバーセット 12QA 本 8 8 8														
ワイヤークリップ 17A 個 50 50 50														
ストッパー 19A 個 2 2 2														
原動機 34S 台 1 1 1														
角軸用外ジョイント 22A 個 1 1 1														
角軸割れ防止ジョイント 22B 個 1 1 1														
軸受けサポート 29T 個 2 2 2														
22.2φ×3mSGパイプ D-05 本 3 4 6														
22.2φパッカー 90G 個 15 20 35														
サドルバンド SDL 個 4 4 4														
Tバンド A09 個 2 2 2														
エクセル線、#14 70B m 250 300 550														
天井フィルム、2.3m×11m 枚 4														
天井フィルム、2.3m×13m 枚 4														
天井フィルム、2.3m×20m 枚 4														
ダイオクールホワイト120SW														
内部遮光設備、等					外部遮光設備、等									
H棟					I棟									
J棟					K棟									
軸受け 1 A 個 5 6 8 8					固定遮光ネット									
ドラム 2 B 個 6 7 9 9					アルベット（アルミ、アルマイト処理） 本 11 11 7									
サイド滑車 5 SFZ 個 6 7 9 9					D:2mm×L:3m、ステンビス留め									
ロープ受け滑車 6 S 個 12 14 18 18					スプリング（メッキ鋼材） 本 17 17 11									
角軸パイプ 7 D 本 5 6 8 8					D:2mm×L:2m、留め金物									
角軸用ジョイント 8 A 個 3 4 6 6					フィルム、3m×7.5m 枚 2									
12.7φ先端パイプ 7 X 個 10 12 16 16					フィルム、3m×18m 枚 2									
12.7φ外ジョイント 8 D 個 8 10 14 14					フィルム、3m×8m 枚 1 1 1									
12.7φパッカー 90B 個 50 100 100 100					フィルム、2.3m×7.5m 枚 1 1 1									
カーテン滑車 12T 個 4 4 4 4					フィルム、4m×7m 枚 1 1 1									
コーティングワイヤーロープ 13A m 150 150 200 200					フィルム、0.6m×4m 枚 2 2 2									
カーテンクリップ 16R 個 12 14 18 18					ダイオネット1010SG									
フィルムクリップ 16F 個 60 80 100 100					外部遮光設備、等									
妻ワイヤーカバーセット 12QA 本 4 4 4 4					固定遮光ネット									
ワイヤークリップ 17A 個 50 50 50 50					アルベット（アルミ、アルマイト処理） 本 11 11 14 14									
ストッパー 19A 個 2 2 2 2					D:2mm×L:3m、ステンビス留め									
原動機 34S 台 1 1 1 1					スプリング（メッキ鋼材） 本 17 17 23 21									
角軸用外ジョイント 22A 個 1 1 1 1					D:2mm×L:2m、留め金物									
角軸割れ防止ジョイント 22B 個 1 1 1 1					フィルム、4.3m×7m 枚 2									
軸受けサポート 29T 個 2 2 2 2					フィルム、4.3m×11m 枚 2 2									
エクセル線、#14 70B m 250 300 350 350					フィルム、4m×11m 枚 2 2									
天井フィルム、2.7m×16.5m 枚 2					ダイオネット1010SG									
天井フィルム、2.7m×20m 枚 2														
天井フィルム、2.7m×25.5m 枚 2														
天井フィルム、2.7m×25m 枚 2														
ダイオクールホワイト120SW														
					令和8年度新宿御苑温室・菊栽培施設遮光設備等改修工事					工事年度 令和八年度				
					東京都新宿区内藤町11					図面名称 栽培温室遮光資材仕様				
					環境省 自然環境局 新宿御苑管理事務所					縮尺				
					新宿御苑					図面番号 E-09/16				
					科長					補佐				
					専門官					担当者				
					設計者氏名 伊東 孝					計 設計者氏名 伊東 孝				
					登録番号 233914					者 登録番号 233914				
					所在地 つくば市竹園 2-10-20					所 所在地 つくば市竹園 2-10-20				

冷温室、使用遮光設備の機材のリスト、数量、等

外部遮光設備、等

ガイドレール	E19	個	18
取付金物	E22	個	12
巻取り原動機・ガイドセット	ECL1	台	12
ガイドレール用ジョイント		個	12
ファーストジョイント		個	12
22.2φパッカー	90G	個	476
調整ベルト	A15	m	66
アルベット（アルミ、アルマイト処理）		本	50
D:2mm×L:3m、ステンビス留め			
スプリング（メッキ鋼材）		本	75
D:2mm×L:2m、留め金物			
天井フィルム、5m×5.5m		枚	12
天井フィルム、1.2m×5.5m		枚	12
天井フィルム、1.0m×5.5m		枚	8
天井フィルム、0.6m×5.5m		枚	4
フィルム、2.7m×19m		枚	1
フィルム、2.0m×19m		枚	1
フィルム、1.8m×17m		枚	1

既設の機材の再利用部分、等

1. 巻き上げパイプ、等
駆動部分の、メンテナンス等、改修時に、調整する。
2. 遮光架台、等、
既設の、劣化、及び隠れた損傷御微量な部分は、改修時に、保全仕上げる。
3. 他、遮光架台の撤去部分の、屋根の穴、架台の穴は、既存のビス等で、留て、止水する。
ビス穴部分は、防水シート、遮光機材の屋根防水シート施工をする。

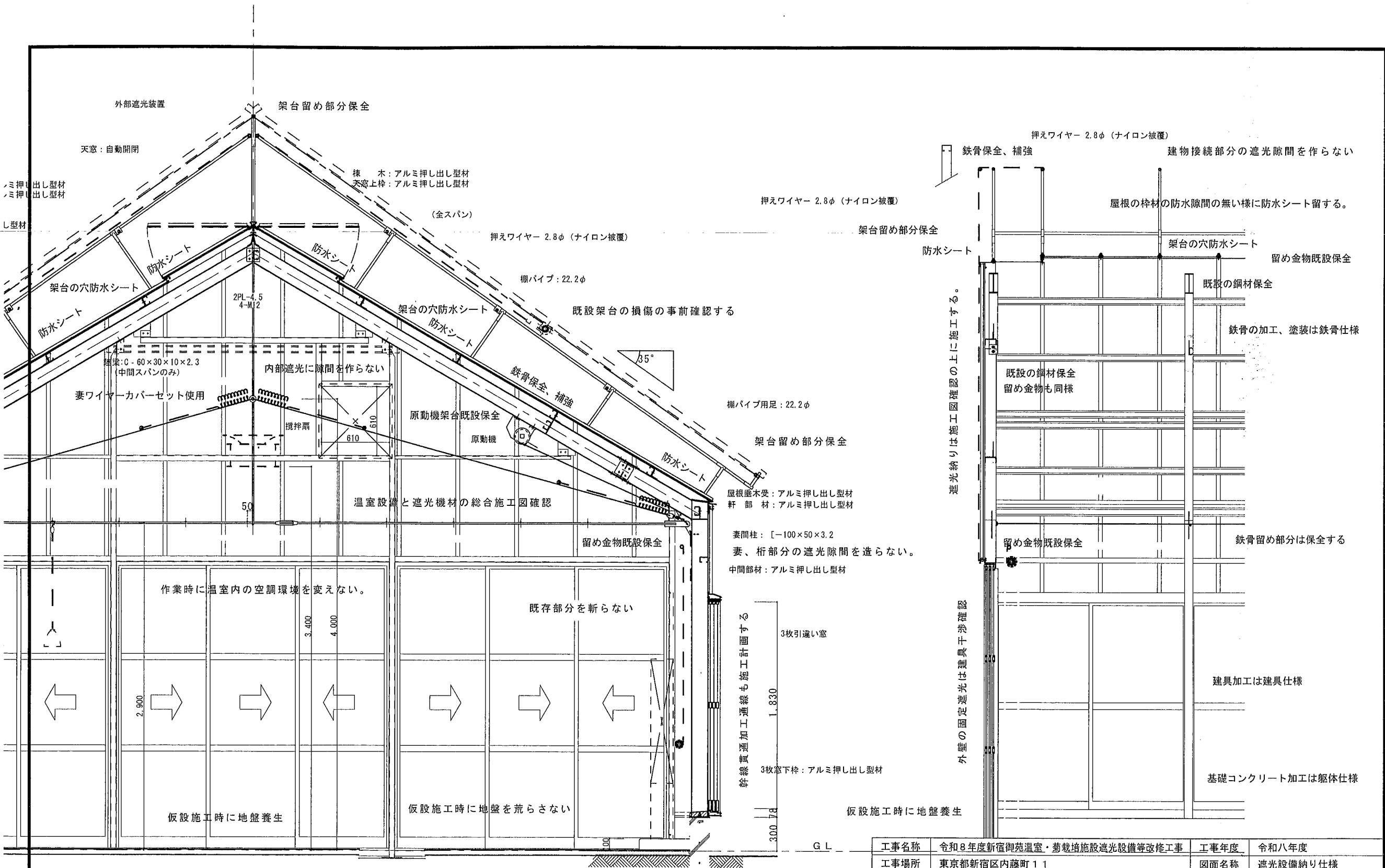
内部遮光設備、等

内部の遮光設備は、工事範囲外、

特記事項、等

- 1、遮光設備、資材のリスト、及び数量は、設計数量であり、施工上の現場の納まり等仕様数量が変わる場合には、適宜、監督職員 の立ち合い確認の上に施工する。
軽微なものは、改修工事の際に、保全、補修する。
- 2、工事は、既設の遮光設備の架台を、再使用して、施工する事により、既存の劣化、損傷により、改修部分が、増える場合は適宜報告する。
必要に応じて、設計変更する。
- 3、設計数量の、変更、増減は、施工数量の確認の上に、設計変更する。
隠れた、変更部分等、改修により診える部分も同様に扱う。
数量報告は、設計変更数量として確認する。
- 4、数量確認調査、等
施工数量の確認は、施工図、及び使用材料調書により確認する。
同様に、施工報告書には、使用数量、及び使用機材の品質証明書、及び施工状況の写真を、使用機材の仕様数量が確認できる写真と共に報告する。
- 5、既設の、劣化損傷部分の補修について
既存劣化部分は、施工時に、確認が出来た時に、適宜報告する。
改修工事により、切れた部分、等、屋根防水の施工部分も、同様に、補強、補修する。
既設再利用部分も同様に、保全補強施工する。

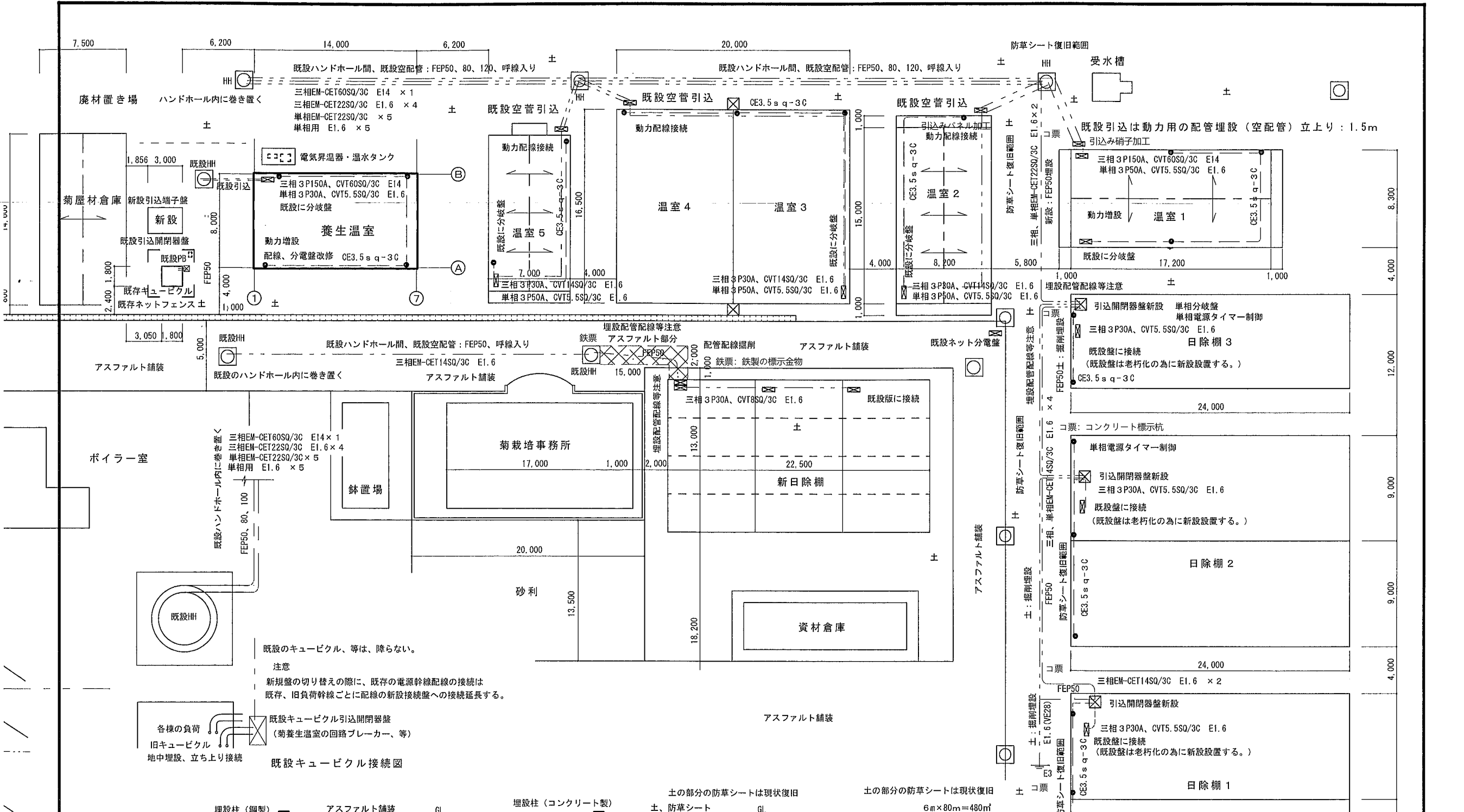
工事名称	令和8年度新宿御苑温室・菊栽培施設遮光設備等改修工事				工事年度	令和8年度
工事場所	東京都新宿区内藤町1-1				図面名称	冷温室遮光資材仕様
発注機関	環境省 自然環境局 新宿御苑管理事務所				縮尺	
公園名称	新宿御苑				図面番号	E-11/16
検 査	科 長	補 佐	専門官	担当者	設 名 称	株式会社藍建建築事務所
					計 設計者氏名	伊 東 孝
					者 登録番号	233914
					所 在 地	つくば市竹園 2-10-20



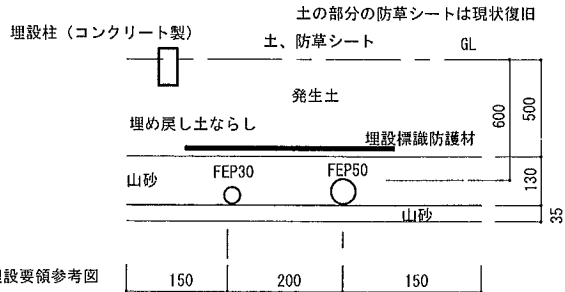
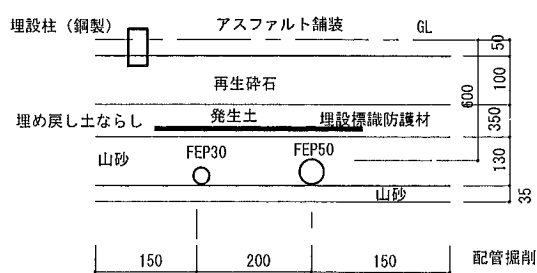
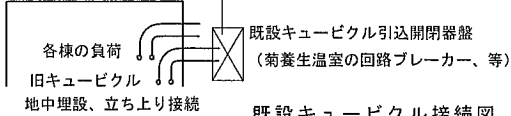
- 工事内容、仕様、等
- 1、屋根、壁、内部天井（支持ワイヤー等）の遮光ネット等の張替え、等、
 - 2、屋根、壁の硝子の清掃、等、
 - 3、屋根、壁、内部天井の遮光ネットの張替え、及び隙間遮光の施工、駆動機器の維持管理、動作確認、等
- 既設の保全、養生、補強、修繕を行う。

栽培温室、矩計図 1:30

工事名称	令和8年度新宿御苑温室・菊栽培施設遮光設備等改修工事				工事年度	令和八年度	
工事場所	東京都新宿区内藤町11				図面名称	遮光設備納り仕様	
発注機関	環境省 自然環境局 新宿御苑管理事務所				縮尺	S=1:100	
公園名称	新宿御苑				図面番号	E-12/16	
検 査	科長	補佐	専門官	担当者	設 名 称	株式会社藍建築事務所	
					設計者氏名	伊東 孝	
					登録番号	233914	
					所 在 地	つくば市竹園 2-10-20	

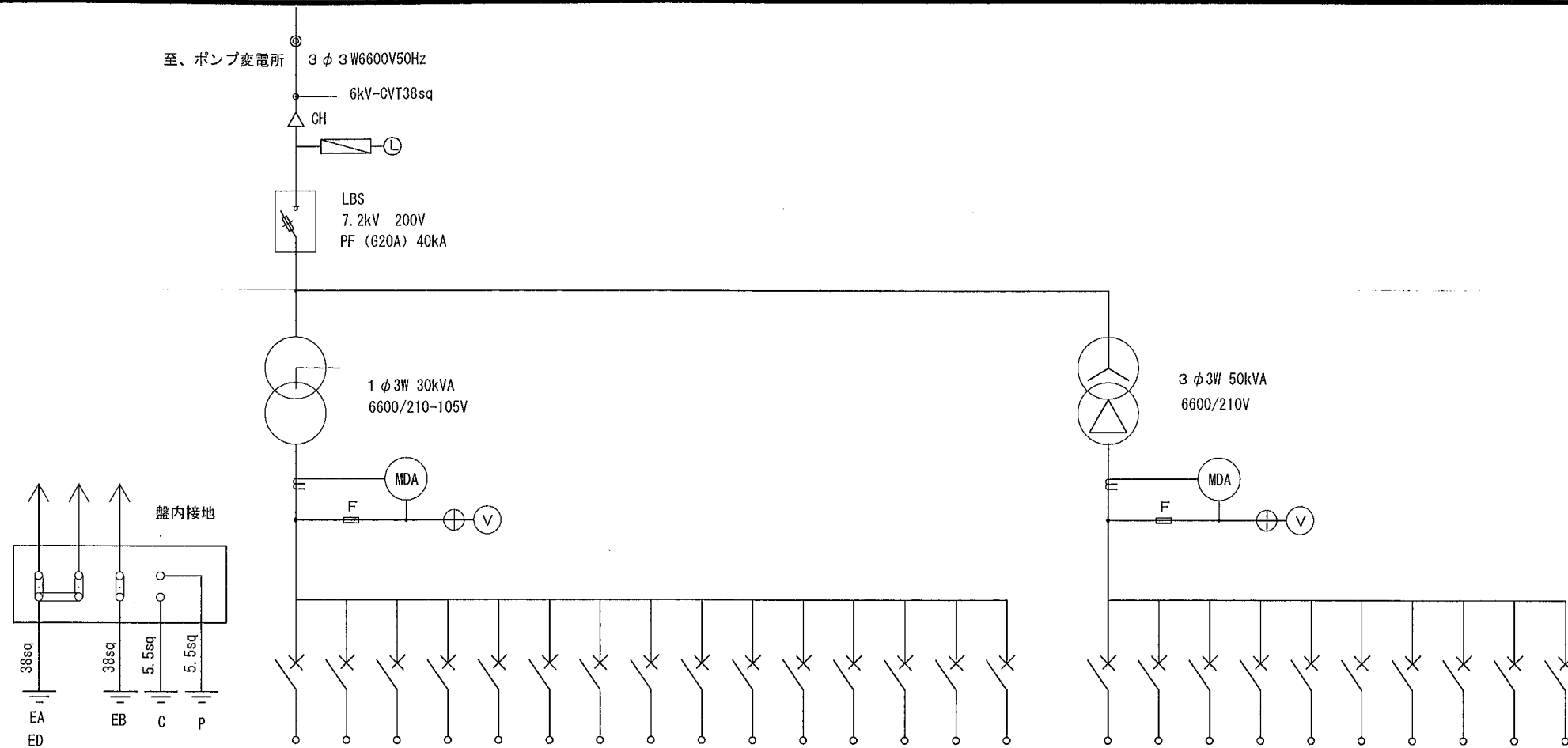


既設のキュービクル、等は、降らない。
注意
新規盤の切り替えの際に、既存の電源幹線配線の接続は
既存、旧負荷幹線ごとに配線の新設接続盤への接続延長する。



土の部分の防草シートは現状復旧
6m×80m=480㎡

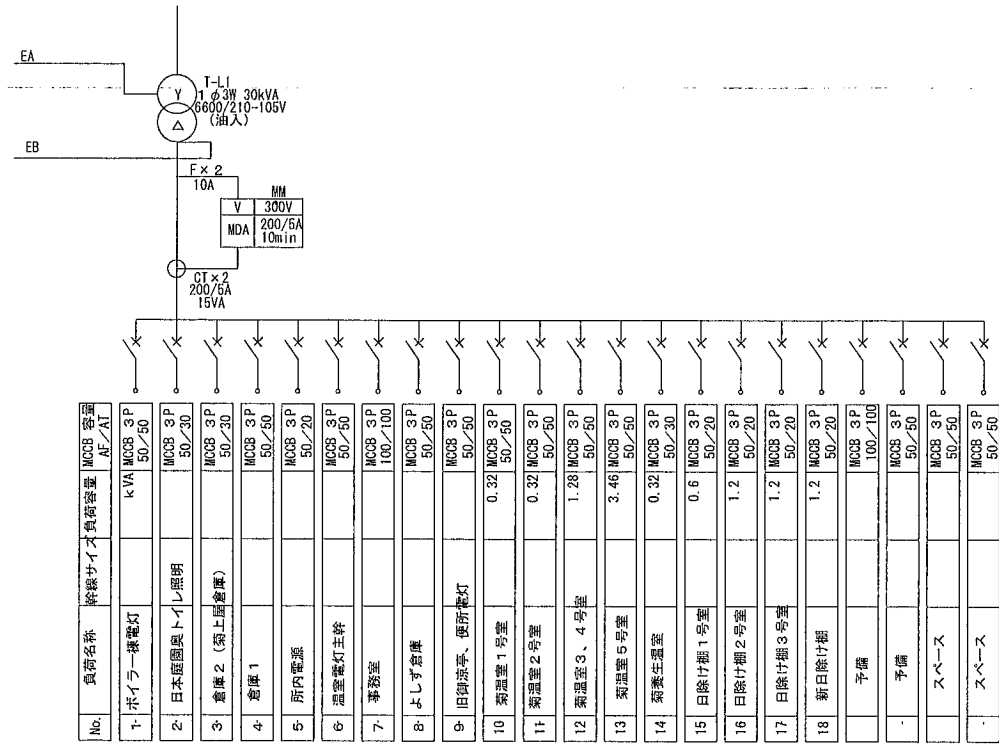
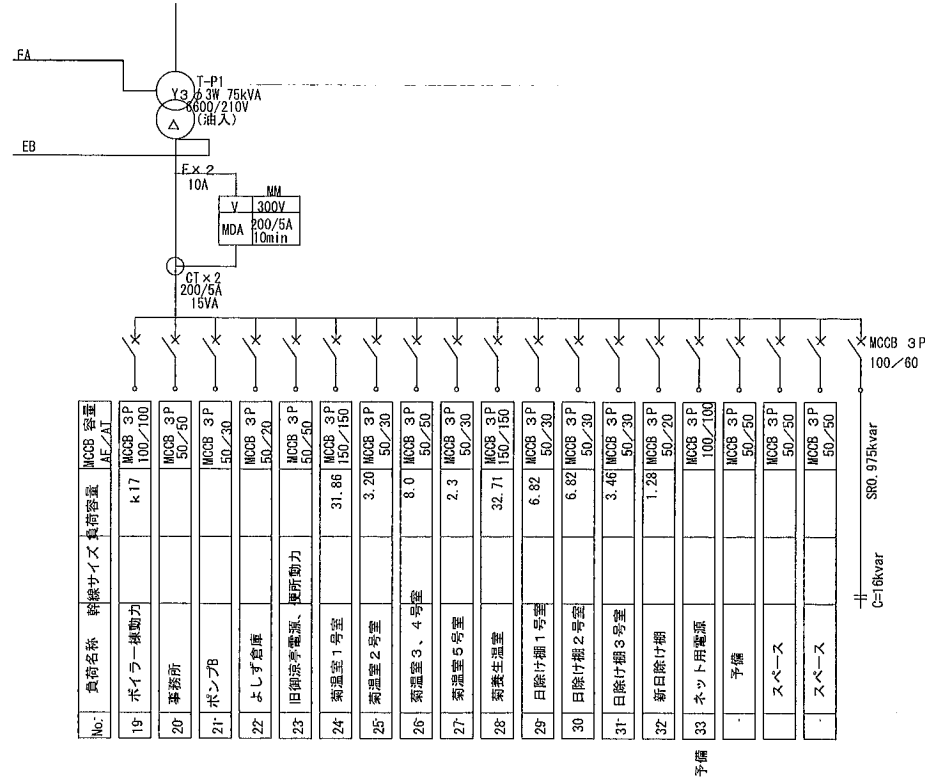
工事名称	令和8年度新宿御苑温室・菊栽培施設遮光設備等改修工事			工事年度	令和八年度	
工事場所	東京都新宿区内藤町11			図面名称	菊配置図・引込配線図	
発注機関	環境省 自然環境局 新宿御苑管理事務所			縮尺	S=1/300	
公園名称	新宿御苑			図面番号	E-13/16	
検査	科長	補佐	専門官	担当者	設 名 称	株式会社藍建築事務所
					設計者氏名	伊東 孝
					登録番号	233914
					所在地	つくば市竹園 2-10-20



No.	負荷名称	負荷容量 kW, kVA	MCCB 容量
1	ボイラー機電灯		3P 50/30
2	菊温室 3		2P 50/20
3	日本庭園奥 トイレ照明		3P 50/30
4	倉庫 2 (菊上屋倉庫)		2P 50/30
5	菊温室 1		2P 50/50
6	菊温室 2		2P 50/50
7	菊温室 5		2P 50/50
8	倉庫 1		3P 50/50
9	菊培養土		2P 50/20
10	所内電源		2P 50/20
11	コンデンサー C-1		2P 50/20
12	事務所		3P 100/100
13	よしず倉庫		3P 50/50
14	旧御涼亭 便所電灯		3P 50/50
15	ボイラー機動力		3P 100/100
16	事務所		3P 50/50
17	菊養生温室		3P 50/50
18	ポンプB		3P 50/30
19	コンデンサー C-2		3P 50/20
20	ユニット ポンプ温室		3P 50/50
21	ネット用電源		3P 100/100
22	よしず倉庫		3P 50/20
23	休御涼亭電源 便所動力		3P 50/30

(OFF)

工事名称	令和 8 年度新宿御苑温室・菊栽培施設遮光設備等改修工事				工事年度	令和八年度	
工事場所	東京都新宿区内藤町 1 1				図面名称	既設盤図、回路図	
発注機関	環境省 自然環境局 新宿御苑管理事務所				縮 尺		
公園名称	新宿御苑				図面番号	E- 14/16	
検 査	科長	補佐	専門官	担当者	設 名 称	株式会社藍建築事務所	
					設計者氏名	伊東 孝	
					登録番号	233914	
					所 在 地	つくば市竹園 2-10-20	



工事名称					工事年度	令和八年度	
工事場所					図面名称	新設・盤図・回路図	
発注機関					縮尺		
公園名称					図面番号	E-15/16	
検 査	科長	補佐	専門官	担当者	設 名 称	株式会社藍建築事務所	
					設計者氏名	伊東 孝	
					登録番号	233914	
					所 在 地	つくば市竹園 2-10-20	

菊温室、及び日除け棚の、幹線引き込み仕様概要、			菊温室、及び日除け棚の、幹線引き込み仕様概要、			幹線引込仕様、等		
菊温室1号室	幹線を、新設の盤の開閉器で受ける。 動力分電盤、箱体 日東工業OR20-514：W500H1430D200 1個 開閉器 3φMCCB3P150／150AT 1個 開閉器 MCCB3P50／15AT 30mA 2個 MCCB3P50／50AT 30mA 2個 MCCB3P60／60AT 30mA 1個 開閉器 ELCB3P50／30AT 1個 配線 EM-CE、3.5-4C 20m P版取り付け下地材 1式 組込み電線 IV-3.5sq 24m IV-5.5sq 10m IV-8sq 8m IV-14sq 5m 配線ダクト 50×60×L2m 3本 ケーブル固定 ZPH-1 15個 銅線結束 30m 単相分電盤より、コンセント新設 分岐回路 ELB2P50／20AT 30mA 1個 ケーブル、CV3.5sq-3C 75m 2P15Aコンセント防水接地付き パナソニックWK4106 3個 1方出露出スイッチボックスVE22 未来PVK-ALN1PKM 3個 ケーブル留め金物、LR-1D 20個 固定銅線 20m		菊養生温室	動力、及び単相の分電盤の、箱体内整理調整、分基盤設置。 単相分電盤より、コンセント新設 分岐回路 ELB2P50／20AT 30mA 2個 ケーブル、CV3.5sq-3C 75m 2P15Aコンセント防水接地付き パナソニックWK4106 4個 1方出露出スイッチボックスVE22 未来PVK-ALN1PKM 4個 ケーブル留め金物、LR-1D 20個 固定銅線 40m		菊温室1号室	幹線長さ：123m 既設の埋設配管＋温室内を配線する 単相：22sq、E：1.6 三相：60sq、E：14	
菊温室2号室	幹線を接続できるように既設の盤に開閉器を組込む 開閉器 3φMCCB3P50／30AT 1個 ケーブル固定 ZPH-1 15個 銅線結束 30m 単相分電盤より、コンセント新設 分岐回路 ELB2P50／20AT 30mA 1個 ケーブル、CV3.5sq-3C 30m 2P15Aコンセント防水接地付き パナソニックWK4106 1個 1方出露出スイッチボックスVE22 未来PVK-ALN1PKM 1個 ケーブル留め金物、LR-1D 5個 固定銅線 10m		菊日除棚1号室	菊日除け棚3号室からの幹線を受ける、盤を設置する。 三相単相分電盤箱 日東工業、OP20-65BA W500H500D200 1個 三相、単相、仕切り版、BP-33506 1枚 開閉器 3φMCCB3P50／30AT 1個 三相 ELCB3P／10AT30mA 1個 MCCB3P50／50AT 30mA 2個 単相 ELCB2P50／20AT30mA 2個 組込み電線 IV-3.5sq 10m 配線ダクト 50×60×L2m 2.5本 ケーブル、EM-CE、3.5-3C 25m 単相分電盤より、コンセント新設 2P15Aコンセント防水接地付き パナソニックWK4106 2個 1方出露出スイッチボックスVE22 未来PVK-ALN1PKM 2個		菊温室2号室	幹線長さ：145m 既設の埋設配管＋温室内を配線する 単相：22sq、E：1.6 三相：22sq、E：1.6	
菊温室3.4号室	幹線は、既存の盤に、巻き置きする。 ケーブル固定 ZPH-1 15個 銅線結束 30m 単相分電盤より、コンセント新設 分岐回路 ELB2P50／20AT 30mA 1個 ケーブル、CV3.5sq-3C 65m 2P15Aコンセント防水接地付き パナソニックWK4106 3個 1方出露出スイッチボックスVE22 未来PVK-ALN1PKM 3個 ケーブル留め金物、LR-1D 25個 固定銅線 30m		菊日除棚2号室	菊日除け棚3号室からの幹線を受ける、盤を設置する。 三相単相分電盤箱 日東工業、OP20-65BA W500H500D200 1個 三相、単相、仕切り版、BP-33506 1枚 開閉器 3φMCCB3P50／30AT 1個 三相 ELCB3P／10AT30mA 3個 MCCB3P50／30AT 30mA 1個 単相 ELCB2P50／20AT30mA 2個 組込み電線 IV-3.5sq 10m 配線ダクト 50×60×L2m 1.5本 24Hタイムスイッチ、TH311K 2個 ケーブル、EM-CE、3.5-3C 25m 単相分電盤より、コンセント新設 2P15Aコンセント防水接地付き パナソニックWK4106 3個 1方出露出スイッチボックスVE22 未来PVK-ALN1PKM 3個 VGT2sq-2芯、10m物 2本 20m ゴムコードコネクターWA6215 2組		菊温室3.4号室	幹線長さ：115m 既設の埋設配管＋温室内を配線する 単相：22sq、E：1.6 三相：22sq、E：1.6	
菊温室5号室	幹線動力分電盤新設、三相主幹開閉器を設ける。 動力分電盤箱 日東工業、OR20-418 W400H800D200 1個 開閉器 3φMCCB3P50／30AT 1個 開閉器 MCCB3P50／50AT 30mA 1個 MCCB3P50／15AT 30mA 6個 組込み電線 IV-3.5sq 24m 配線ダクト 50×60×L2m 3本 ケーブル固定 ZPH-1 15個 銅線結束 30m 単相分電盤より、コンセント新設 分岐回路 ELB2P50／20AT 30mA 1個 ケーブル、CV3.5sq-3C 45m 2P15Aコンセント防水接地付き パナソニックWK4106 2個 1方出露出スイッチボックスVE22 未来PVK-ALN1PKM 2個 ケーブル留め金物、LR-1D 10個 固定銅線 20m		菊日除棚3号室	幹線を新規の盤で受けて、日除け棚1、2に分岐配線する、 三相単相分電盤箱 日東工業、OP25-57BA W500H750D250 1個 三相、単相、仕切り版、BP-33506 1枚 開閉器 3φMCCB3P60／60AT 1個 三相 MCCB3P60／60AT欠相付き 1個 MCCB3P50／30AT 2個 MCCB3P50／30AT欠相付き 2個 ELCB3P／10AT30mA 3個 単相 ELCB2P50／20AT30mA 2個 組込み電線 IV-3.5sq 15m 配線ダクト 50×60×L2m 1.5本 24Hタイムスイッチ、TH311K 2個 ケーブル、EM-CE、3.5-3C 30m 単相分電盤より、コンセント新設 2P15Aコンセント防水接地付き パナソニックWK4106 3個 1方出露出スイッチボックスVE22 未来PVK-ALN1PKM 3個 VGT2sq-2芯、10m物 2本 20m ゴムコードコネクターWA6215 2組		菊新日除け棚	幹線長さ：97m 既設の埋設配管＋新設埋設配管＋日除け棚内部配線 (55m+12m：FEP50+8m) 三相：14sq、E：1.6 埋設部分の：アスファルトの掘削長さ：16m	
菊温室1、2、3号室 防草シートの復旧面積：6m×80m＝480㎡			特記事項、等					
1、幹線 本工事での本設の電源（三相、単相）の、通線、通電は出来ないものと思われますが、仮設での、電機幹線の、絶縁、漏電、通線の確認を行う。 試験時には、監督員が立ち会う事として、仮設の電球等での確認を行う。 2、地中埋設配管、及びアスファルト部分の埋設配管、等の舗装復旧は、既存の仕様に合わせる仕様として、目地もモルタルシールする。 埋設シート、埋設表示も既設に合わせる事とする。 3、日除け棚前の埋設配管の整地は、縁石に合わせて水勾配を考慮して整地してから防草シートを敷き詰める事として、ピン、ワッシャーにより適宜、留め付ける。 既設のハンドホール、新規の埋設表示の確認の出来る様にする。 4、幹線貫通の、窓の加工、外壁パネルの加工、等、 使用材料の現物の見本、及び施工図、承認図の確認の上に、制作を行い、納期を考慮して、制作の仕様、及び仕上げ仕様、防水仕様を行う。 5、配管、配線の留め付けの為に、金物固定を用いて、鉄骨に傷、及び塗装の傷は、補修塗装する。 補修用の塗装についても、使用材料、品質証明書により環境に相応した材料である事の確認をし、他の、使用材料についても環境等に配慮した材料である事の報告を、適宜行う。								
工事名称		令和8年度新宿御苑温室・菊栽培施設遮光設備等改修工事		工事年度	令和8年度			
工事場所		東京都新宿区内藤町11		図面名称	菊幹線仕様、盤図			
発注機関		環境省 自然環境局 新宿御苑管理事務所		縮尺				
公園名称		新宿御苑		図面番号	E-16／16			
調査	科長	補佐	専門官	担当者	設 名 称 株式会社藍建築事務所			
					計 設計者氏名 伊 東 孝			
					者 登録番号 233914			
					所 在 地 つくば市竹園 2-10-20			